講師自己紹介とアブストラクト

1. 次世代自動車とサーキュラーエコノミーの最新動向

[講師]

㈱ティムネット　コーディネーター　荒木克己

[略歴)]トヨタ自動車(株)トータルソリューション室参事、トヨタ車体(株)海外事業室室長・参事

[アブストラクト]

カーボンニュートラル要請、レアメタル知政学的リスク・セキュリティーリスク・ユーザーニーズの変化の中、自動車業界がどのように対応しているかの最新動向を説明します。

・電動化・ＳＤＶ化・自動運転等のトレンド・最新動向

・水素社会化・カーボンニュートラル燃料の最新動向

・サーキュラーエコノミーの動向

・自動車市場予測

2. マルチマテリアル化・異種材接合技術

[講師]

㈱ティムネット　コーディネーター　手塚威

[略歴)]シロキ工業(株) 第一設計部長、シロキブローゼ株式会社代表取締役、シロキ工業(株)取締役常務執行役員

[アブストラクト]

車両全体での最重要課題の一つに「大幅な軽量化」があります。

従来の鋼材の改良や設計手法では大幅な軽量化は実現出来ず、より軽量な素材を適材適所に使う「マルチマテリアル化」による最適設計・軽量化が重要です。

「マルチマテリアル化」の実現には、「個別素材開発」のみならず「異種素材間の結合技術」や「設計・評価・測定技術」そして「容易な解体技術」が課題となります。

それら課題に対する「国レベル、産学レベル（自動車、素材、大学）での取り組み」を紹介します。更に「異種材結合技術の６つ課題を定義」し、それらを解決するための「キャッチアップすべき技術」と、その技術に基づく「良品条件確立プロセス」へ具体的な例をあげて説明します。

3. 機械加工の最新動向・中小企業の対応

[講師]と[略歴]

㈱ティムネット　コーディネーター　荒木克己（上記講演 1.と同じ）

[アブストラクト]

カーボンニュートラル目標達成に向け、機械加工業界、特に中小企業が具体的に何をすべきかを、説明します。

・工程レス化(熱処理レス・研磨レス・工程数短縮)

・小型化・薄肉化・軽量化、静音化・制振・遮音/吸音、複合工程・複合素材

・電蝕対応、サーキュラーエコノミーへの対応方策

・品質向上・改善提案力向上

・得意分野を研ぎ澄ます

4.　多品種少量生産の対応

[講師]

㈱ティムネット　コーディネーター　中村真一郎

[略歴)] トヨタ自動車(株)田原工場製造部部長、プレス生技部部長、豊臣機工(株)副社長

[アブストラクト]

・自動車産業は電動化やＳＤＶ化が今後加速されると、開発・生産のあり方は大きく見直され、モデルチェンジの考え方も大きく変わることが予想されます。こうした流れの中で、「大量生産で長く生産し続ける部品」と「多品種少量で多様化する部品」との二極化の様相を呈しつつあります。本講演では、この「多品種少量部品」に焦点を当て、中堅・中小自動車部品サプライヤーが多品種少量生産で勝ち残るために、自動車メーカーと自動車部品メーカーの両現場で多品種少量生産の開発を指揮してきた講師が、開発・生産技術・生産方法・営業など、多角的な視点から、多品種少量生産に対応するための考え方や取り組み、今どのような「構え」が必要なのかについて解説します。